

台風被害・コロナ禍を乗り越えるカーネーション産地

～環境制御技術の実際を学ぶ～

安房農業事務所改良普及課 令和3年12月7日発

富浦カーネーション研究会（南房総市、5戸）は今年度、「スマート農業技術高度化産地支援事業」（生産振興課）を活用し、専門家を招いて研修会を開催しています。12月3日の第1回研修会では、冬季の温度管理を中心に、植物生理に基づく環境制御を学びました。

農業事務所では、研修会へ向けて、現状分析及び経営目標の整理、ハウス環境データのまとめ等を支援しました。日頃から情報交換が盛んな研究会ですが、これらの準備をとおして他者との栽培管理の違いや環境制御の疑問点を各会員が事前に整理することができ、当日は活発な意見交換が行われました。

当研究会は令和元年房総半島台風で農業施設に甚大な被害を受けた上に、その後のコロナ禍で切り花の販売に苦戦する経験をしました。経営再建に取り組む意欲が湧いている今、よりきめ細かい栽培管理を実践し、さらに経営発展できるよう、引き続き支援を行います。



時間が足りないほど活発な議論が交わされました